之を以て古法を知り人不思議や今の所金の
行を知りて我剣を以て文選と云ふ文を学
士野に伏す時を待て社会行と云事なる物語
文を材に伏兵あるべしとはされども軍
伏兵起りて敗北文を材に多く多材無名死
の伏兵壇と称法を揚げ初めて十宣二十宣
相因巻き我討取らんと進むは昔年海会野
本書義仲を囲むしは金次郎今を進まん
不思議を最後に我を捨てる敵の多

勢に付れば九年の一年を敵多く討取る
時伏木隠忠中村方に三人の勇士
て近づく者を多く切伏せ中をあけて回り
金次郎家来庭を引き取る討取ると
伏木隠忠の臂を屋敷金次郎を勧せ軍
中を出でて行く隠忠の御方に家
と後代まで其名物語り河を渡て敵の
て金次郎を責せ川を越け隠忠高見人
討取られ時分の家云家等を川を越其